

当委員会では今後も4つの部会で分科会を行い、質問や論点をまとめてから、この全体会で議論します。
 県、事業団、市におかれましては、引き続き回答やそれぞれの委員会への住民意見の反映をお願いいたします。

- ・地域振興部会 案件を見守る地域住民の心情に寄り添い、地域振興事業は着実に進んでほしい。
- ・道路・交通部会 工事車両がどのくらい通るのか、説明を求めたい。
- ・施設・環境衛生部会 やはり特に工事車両について、説明を求めたい。
- ・総務広報部会 地域に根差した施設になるように、地域住民を含めた4者協定を締結してほしい。



編集後記

- ・今も当然大事ですが、50年～100年の子孫や後世にも恥じないよう、当事者の叡智を結集しましょう。
- ・当件は、地元住民や市民の気持ち・意見が反映出来る仕組みづくりが最も重要と考えております。今後ともご協力よろしくお祈りします。
- ・絶対安全な設備などはありませんが、少しでも安全な設備になるようにしたいと思います。
- ・3年の間、試行錯誤しながらたくさんの方の意見を交わしながら少しずついい方向に向かってきていると思いますので、今後も話し合いながらいいものを作り上げていっていただきたいと 思います。



かんきょう 言取言方

第13号 令和5年5月5日

諏訪学区コミュニティ推進会
 環境保全委員会総務広報部

電話 (33)3841

新年度のあいさつ

環境保全委員会委員長 持田 幸雄

- ・令和2年5月26日の県知事の新産業廃棄物最終処分場の発表から3年が経過しました。令和2年度は産業廃棄物最終処分場の是非を問う自治会を中心とした住民への説明会、エコフロンティアかさまの見学など、処分場とはなんだ、から始まり、地域への影響はどうか等、分からない事が多すぎて地域住民の不安は非常に大きいものでした。
- ・自治会説明会21回、合同説明会5回、エコフロンティアかさま見学3回、コミュニティ役員や自治会長への説明会4回等、住民の皆様の理解を深めて参りました。
- ・令和3年度になり、諏訪学区においても県や市に対応する部署が必要とのことで、環境保全委員会を立ち上げ、広報誌「かんきょう諏訪」を8回発行し、産業

廃棄物に関する茨城県や日立市の動向をお知らせしてきました。

- ・令和4年度は、県の基本計画、住民説明会、基本設計、環境影響調査、実施設計などが明らかになってきました。学区においても地域振興の意見や要望を県、市に提案し、県で取りまとめたものが回答されました。
- ・令和5年度は、施設の工事、工事車両の通行等、目に見える影響が諏訪学区に現れ始めます。今後も県や市に対し、地域の要望や提案を提出し、地域の安全、あんしんを守り、地域の更なる発展が望めるように取り組んでいきたいと思っております。
- ・今後ともご協力をお願い致します。

●●● はじめに ●●●

あの日から3年…まもなく知事が諏訪町を候補地と発表した5月26日です。
 今回は3～4月の出来事と主な内容を紹介します。

3月から4月の出来事

令和5(2023)年

- 3月 6日 拡大正副会長、自治会長会議
- 8日 茨城県 南側新設道路に係る地質調査業務等に関する地元4学区説明会
- 8日 コミュニティ推進会 役員会
- 15日 日立市議会 第20回 新産業廃棄物最終処分場調査特別委員会
- 27日 茨城県 新産業廃棄物最終処分場 整備に関する地元4学区説明会
- 27日 環境保全委員会 総務広報部会 4者協定勉強会 1回目
- 29日 第26回 拡大環境保全委員会
- 4月 1日 茨城県 広報紙 ひばり で処分場整備の紹介あり
- 1日 茨城県 人事異動発令
- 4日 環境保全委員会 総務広報部会 4者協定勉強会 2回目
- 10日 環境保全委員会 総務広報部会 4者協定勉強会 3回目
- 17日 環境保全委員会 総務広報部会 4者協定勉強会 4回目
- 19日 環境保全委員会総会

3月～4月の出来事の主な県からの説明と参加者からの意見

3月29日 拡大環境保全委員会の内容

工事車両について
1, 委員の意見
 小型車は令和2年より減少しているが、大型車は1.5倍位増えている

<p>市の意見 ピークの台数はどのような車種でどのレベルの大型車か、どのような時間帯を通るのか市としても意見をもとめていきたい。</p>	<p>県の回答 大型車が資材を入れる時(ベントナイト資材)がピークとなる予定だが はっきりとしたことはもう少しまとまってからお話したい。</p>	<p>事業団の回答 実施設計で強度を決定し、どのくらい部材が必要になっていくのか決めていきますので、その中で最大車両数等が決まってくると思う。</p>
--	--	---

道路について
2, 委員の意見
 油縄子交差点の改良は具体的にどのような方向か改良が済まないうちは施設工事をすすめないでほしい



大気質調査

県の回答・・・油縄子交差点の改良は地域振興で括りたいと考えている。右折車が流れないというのが最大の問題と思っているので、油縄子小学校側には右折レーンを設置する、また梅林通り側の右折レーンを長くする、という方向性。まだ用地買収は済んでいない状況。

風について
3, 委員の意見
 風向き、風速の計測はどのようにやっているか、通年やるべきではないか

事業団の回答・・・季節毎にやっている。



防災調整池について
4, 委員の意見
 防災調整池については工事を行うことで鮎川に負担がかかるのでは防災調整池が足りないのでは基本設計で防災調整池容量が35,000m³とでているので、その前提の数字を教えてください日流量の前提を教えてください

市の意見・・・我々も同じ認識で、現在は計算されているということもあり、これから3者で協議することになっている。



茨城県から新設道路の地質調査に関する説明会が日立市議会と4学区(諏訪・大久保・油縄子・成沢)に対してありました。

県の説明

新設道路に関しては令和5年度中の工事着手令和8年度末の併用開始を目指し進めていく。

- ※新設道路の整備について
 - ・測量、地質調査、詳細設計を実施。
- ※既設の道路整備について
 - ・油縄子交差点の改良について測量、詳細設計を実施している。しかし、今後用地買収があるので、まだ具体的な日付は申しあげられない。工事は施設建設と並行して行う。
 - ・梅林通りのガードパイプの設置について地元調整実施。諏訪神社下の約700mの区間で具体的に調整しているところ。



委員や参加者からの意見・要望

- 1, 現地調査の際は周辺に十分周知した方がよい。
- 2, 諏訪小の下は通学路なので、朝の通行は控えていただきたい。
- 3, 新設道路については、しっかり進めていただきたい。
- 4, 住民説明については広報誌だけでなく、地元の方に4学区を含めた説明会を行ってほしい。
- 5, 地域振興についても、着実に進めていただきたい。

現況調査箇所(大気質、水質、騒音、悪臭、地下水)

